

第2回「きぼう」有償利用テーマ募集 の進め方について

平成20年7月23日

宇宙航空研究開発機構
有人宇宙環境利用ミッション本部
(説明者： 事業推進部長 山浦 雄一)

有償利用テーマの募集内容等

◆ JAXAによる有償利用テーマ募集の目的・狙い

- 利用者が利用料金を支払うことにより、成果が利用者に帰属する枠組を構築して、利用者の多様化・拡大を図り、「きぼう」の更なる利用を促進する。
- 「民間事業者が取り纏めを行う有償利用」の枠組構築に向けて、JAXAが試行・検証を行う。
- 第1回目は、平成19年11月に公募発出、平成20年3月に3テーマを選定し、準備を進めている。

◆ 第2回「きぼう」有償利用 募集内容

- 利用期間：平成21年6月～平成22年5月の間
- 利用リソース(次頁参照)：
 - 軌道上の宇宙飛行士の作業時間(クルータイム)： 総計17時間(*1)
 - 地上とISS間の物資輸送サービス(*2)： 打上げ総計15kg / 回収総計7kg
- 利用実施場所：「きぼう」船内実験室内部及び船内保管室内部
- 有償利用で得た成果の帰属：利用者に帰属
(ただし、撮影された映像については、JAXAは利用者と相談のうえ、技術検証及び広報目的で無償で利用可能。また、JAXA宇宙飛行士を撮影した映像には取扱い条件を設定。)

(*1)利用期間におけるクルータイムの総計。連続する作業については原則として1日あたり2時間以内とする。

(*2)利用期間における物資輸送サービス量の総計。各フライトごとの最大搭載重量(予定)は次頁のとおり。

有償利用リソース割当(第2回募集分)

平成21年							平成22年					
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
	 17A 打上げ 8.0kg ↑			 ULF3 回収 3.4kg ↓				 19A 打上げ 回収 7.0kg 3.6kg ↑ ↓				
クルータイム:5時間				クルータイム:12時間 (JAXA宇宙飛行士の約6ヶ月の長期滞在を含む)								

(注) 宇宙飛行士の訓練時期

平成21年6月～9月の利用期間:

平成21年1月頃

平成21年10月～平成22年5月の利用期間: 平成21年5月頃

有償利用テーマの応募資格・条件等

◆応募資格

- 有償利用及び関連する調整を、自社事業により実施できること(他社への支援委託も可能)。
- 日本の機関、法人、団体及び日本国籍を有する者。

◆制約条件等

- きぼう、ISS、輸送機及び実施に係る全ての関連施設等を損傷する可能性がないこと。
- 公序良俗に反するものでないこと。
- ISS計画、「きぼう」及び宇宙飛行士のイメージを低下させるものでないこと。
- 当初予定された期間中に利用が実施できない場合(利用者側の事由を除く)、後続の期間中に優先的に必要な利用機会を提供。遅延に伴う利用者側の損害に対してJAXAは賠償義務を負わない。

◆JAXA宇宙飛行士の映像

- JAXA宇宙飛行士の映像撮影を可能とする。
- 撮影された映像の利用(放映等)にあたっては、その内容について事前に機構の審査を受け、了承を得ることを条件とする。
- 映像利用の期間及び回数に制限を設ける。

有償利用テーマ募集における役割分担・資金負担

◆役割分担・資金負担（次頁参照）

JAXA

- ① 利用者が必要とする利用リソースを配分。
- ② 国際取決め上JAXAの責任とされる作業（国際計画調整、安全性・搭載性審査、打上げ判断、ペイロードの実運用等）の実施。

（注）利用リソース：軌道上のクルータイム・電力・通信・容積、打上げ・回収の重量・容積

利用者

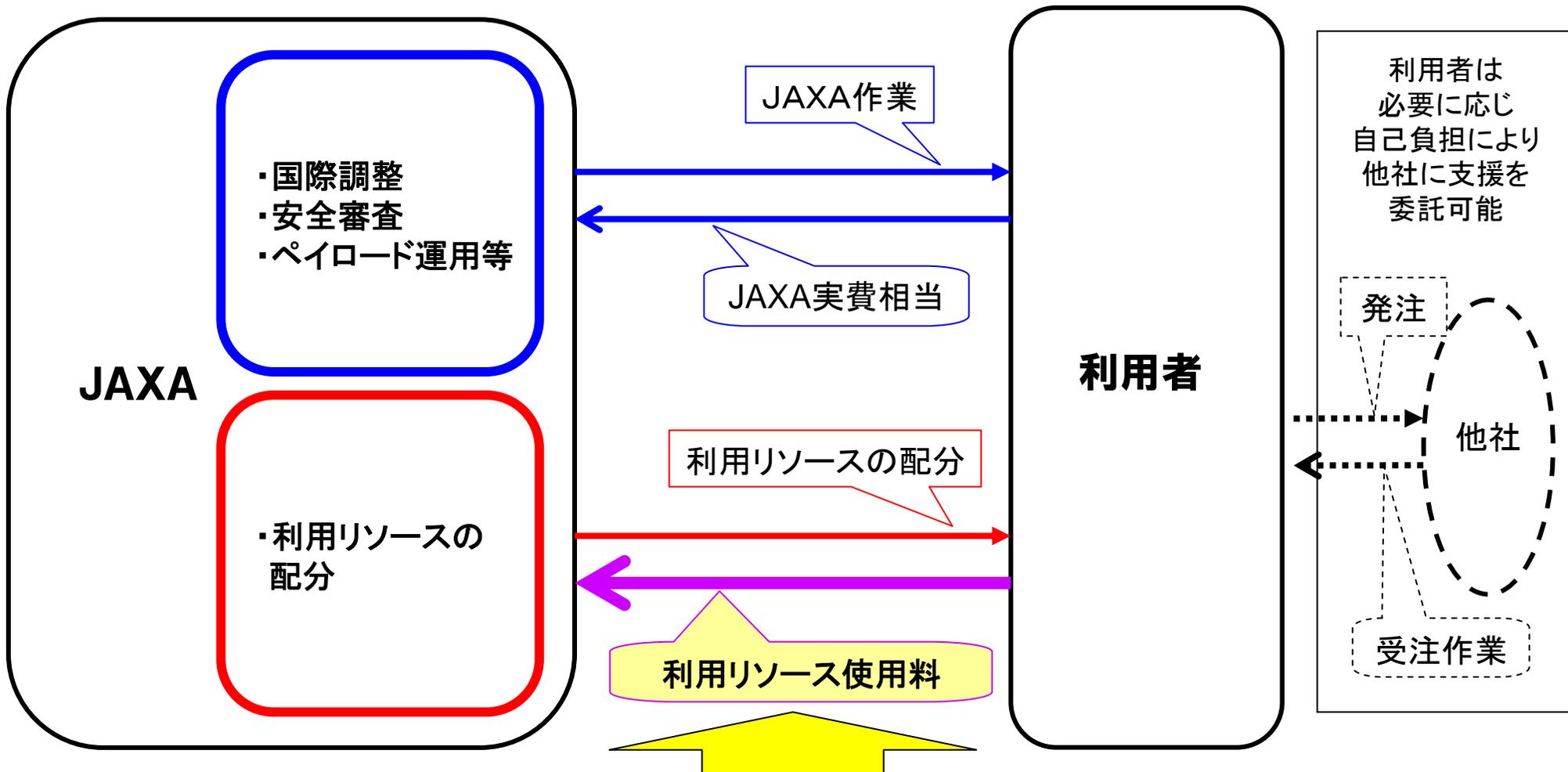
- ① 利用リソース使用料の支払い。
- ② JAXAが実施する作業（JAXAの②）の実費相当額の支払い（JAXA見積りに拠る）。
- ③ 「JAXAの①及び②」以外の作業を自己負担にて実施（利用計画の作成、利用準備等）。但し、当該作業への支援が必要な場合は他社に委託してもよい。

◆最低単価の設定（第2回募集で設定）

- 応募者が提案する利用リソース使用料は、右表の最低単価を用いて計算した金額以上であること。（クルータイム及び打上げ・回収重量は、それぞれ5分単位及び10g単位での提案をお願いする。）

最低単価	
クルータイム	500万円（1時間あたり）
打上げ	300万円（1Kgあたり）
回収	500万円（1kgあたり）

有償利用テーマ募集における役割分担・資金負担



第2回公募においては、応募者が提案する利用リソース使用料は、JAXAの示す最低単価を用いて計算した金額以上であること。

有償利用テーマの選定プロセス

テーマ提案
【応募者】

- 応募者は、利用テーマ(内容、体制、利用リソース量等)を提案

資格審査
【JAXA】

- JAXAは、応募資格への適合性、経済的能力・実施体制・技術的実現性の観点から審査

外部審査
【JAXA外部有識者】

- JAXA外部有識者は、制約条件等への適合性の観点から審査

利用リソース量の分析、応募者への分析結果提示
【JAXA】

- JAXAは、提案された利用リソース量(特にクルータイム)の妥当性を、テーマ内容に照らして分析。結果を応募者に提示

利用リソース使用料の提案
【応募者】

- 応募者は、JAXAの利用リソース量の分析結果を勘案して利用リソース使用料を検討
- 応募者は、利用リソース使用料をJAXAに提案

選定
【JAXA】

- JAXAは、有償利用リソースの枠内で利用リソース使用料の合計が最大となるテーマを選定(1~複数テーマ)

有償利用テーマ募集・選定のスケジュール(第2回分)

平成20年						平成21年			
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
23 下旬 第2回有償利用テーマ募集に関する説明会 第2回公募発出 宇宙開発委員会報告	上旬 個別質問・相談期間(その1) 下旬 個別質問・相談期間(その2)	30 応募締切	上旬 資格審査 中旬 外部審査 利用リソース量の分析結果の提示【JAXA↓応募者】	初 利用リソース使用料の提案【応募者↓JAXA】 下旬 テーマ選定結果の通知(予定)		中旬 契約締結			